

R4年度みまさかの看護の職場にきんちがい事業(青字はR3実績)

現 状

- 看護職員確保状況
全県が約100%のところ、圏域では約9割
- 圏域の採用後1年以内の看護職員離職率は県平均より少し高い
→看護職不足

R3年度きんちがい事業実績

- ・ネットを活用し情報発信の場を広げた。(インスタグラム、ポータルサイト)
- ・看護学生や医療従事者を対象に各種交流会を開催
- ・個別支援9件対応(3件就職)

人材不足による今後の課題

- ・受持ち患者、業務量の増加
- ・休床の増加
- ・地域医療体制の維持困難
- ・市町村から保健師確保の要望



人材確保コーディネーター

- ・本事業の企画、運営、評価を実施
- ・関係機関(者)、団体との連絡調整

人材確保コーディネーターによる
就労支援1) 移住フェアで看護職の
しごとブースの出展

- ・県や市町村等が主催する移住フェアにブースを出展
- ・美作地域の看護職場の就労相談及び生活相談を行う。

2) ハローワーク等と連携した
潜在看護職の就労相談支援

- ・ハローワーク津山の相談員と連携をとり、具体的な就労となるよう潜在看護職の復職の後押しを行う。(個別支援 10件)

3) 学生への就労促進の強化 (新)

- ・管内だけではなく圏域外の看護学生に対して美作地域での就職について働きかけを行う

交流会による
離職防止・定着促進

1) 医療従事者間の交流会

- ・管内医療機関に従事する者が交流を図り、美作地域の看護や地域の魅力を再認識することで離職防止を図る
- ・企画、運営をサポートチームが中心となって行う。(1回、5病院 12名)

美作地域や看護職場の
魅力発信による
就職促進1) ネットを活用した美作地域の
看護職紹介

- ・ポータルサイトやインスタグラム等に看護職や美作地域の魅力と看護職募集の最新情報を掲載する。(12施設 33件投稿)

2) 美作地域の看護職と看護
学生の交流会の開催

- ・県内の看護学生と美作地域の看護職とが交流(1回、WEB有)
- ・美作の看護職と地域の魅力を伝える。(Web11施設 学生66名 参集1回 29名)

3) 出前！看護職体験 (新)

- ・中学、高校生を対象に看護の仕事について紹介し、将来、看護職としての進路選択を促進する。

4) 看護師養成学校で出張看護
職相談ブース出展 (新)

- ・看護学生に対して就職相談を実施し、美作地域で働く魅力を伝え、就職促進を行う。



支援体制の強化・充実

1) みまさかの医療と看護を考える会 (3回)

- ・看護部長、看護協会支部長、看護養成学校、行政で構成
- ・本事業の企画、運営、評価を行う

2) 看護職確保サポートチーム (5回)

- ・若手看護職のワーキングチーム会議
- ・当事者視点で事業の企画・運営に参画

3) 関係機関(団体)との連携 (新)

- ・岡山県看護協会、病院協会、郡市医師会等と連携し事業の地域への定着と展開を目指す